

厚生労働省沖縄労働局発表
令和5年(2023年)3月31日(金)

担当	職業安定部	職業安定課
	部長	高崎 美奈子
	職業安定課長	渡真利 直人
	電話	098(868)1655

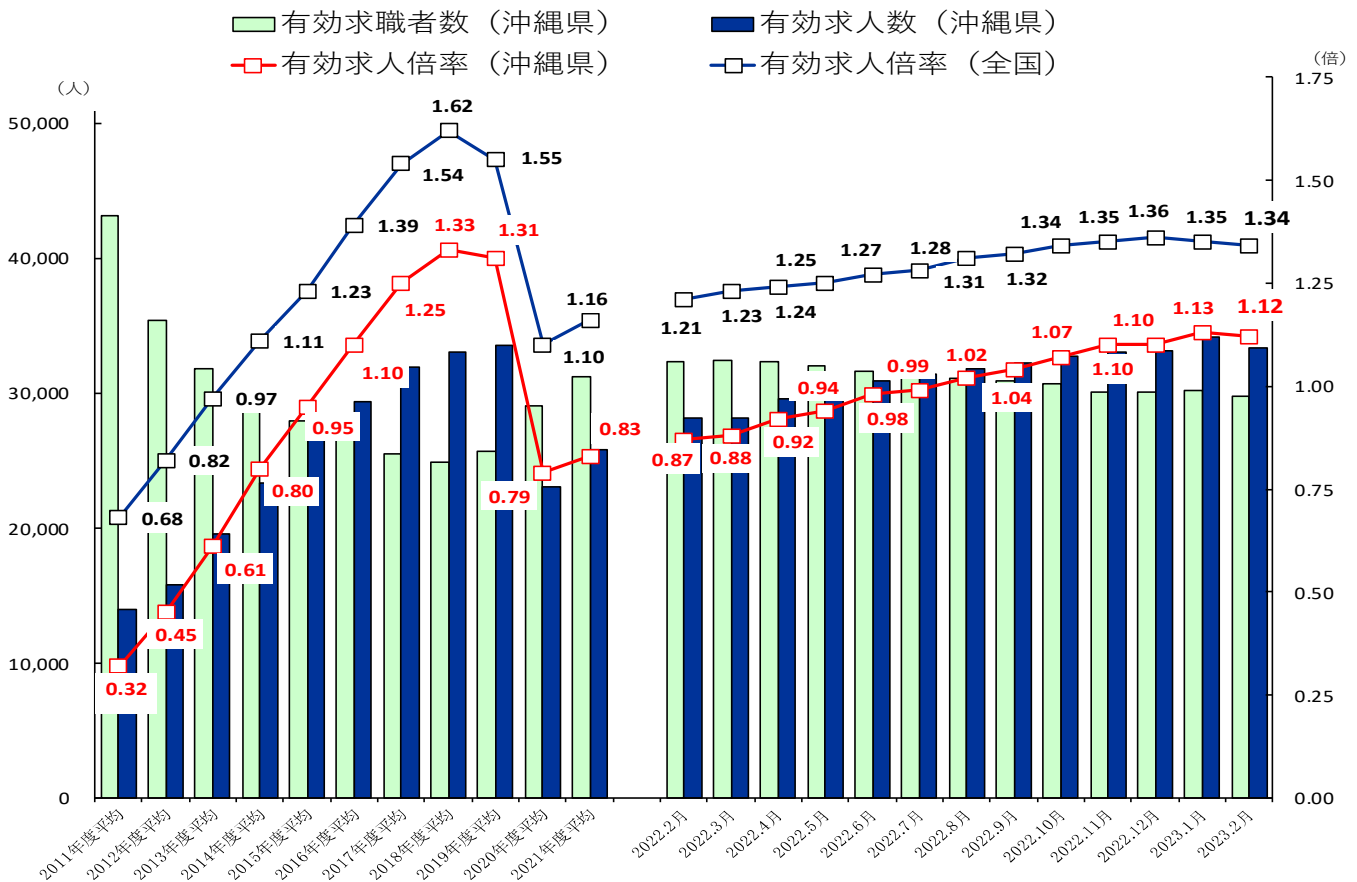
「労働市場の動き」令和5(2023)年2月

沖縄の雇用情勢は、求人が求職を上回り改善傾向は続くが、物価上昇等が雇用に与える影響に注意する必要がある。

【就業地別】

- 有効求人倍率(季節調整値)は1.12倍で、前月より0.01ポイント低下。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.06倍で、前月より0.04ポイント低下。
- 正社員有効求人倍率(原数値)は0.67倍で、前年同月より0.16ポイント上昇。

【第1表】 求人、求職及び有効求人倍率の推移



(注) 年度平均の推移は原数値

(注) 月の推移は季節調整値

(注) ハローワークインターネットサービスの機能拡充に伴い、令和3年9月以降の数値には、ハローワークに来所せず、オンライン上で「求職者マイページ」を開設した求職者数や、ハローワークインターネットサービスで探した求人に直接応募する「オンライン自主応募」による就職件数等が含まれている。

1. 有効求人倍率・新規求人倍率の動き【就業地別】

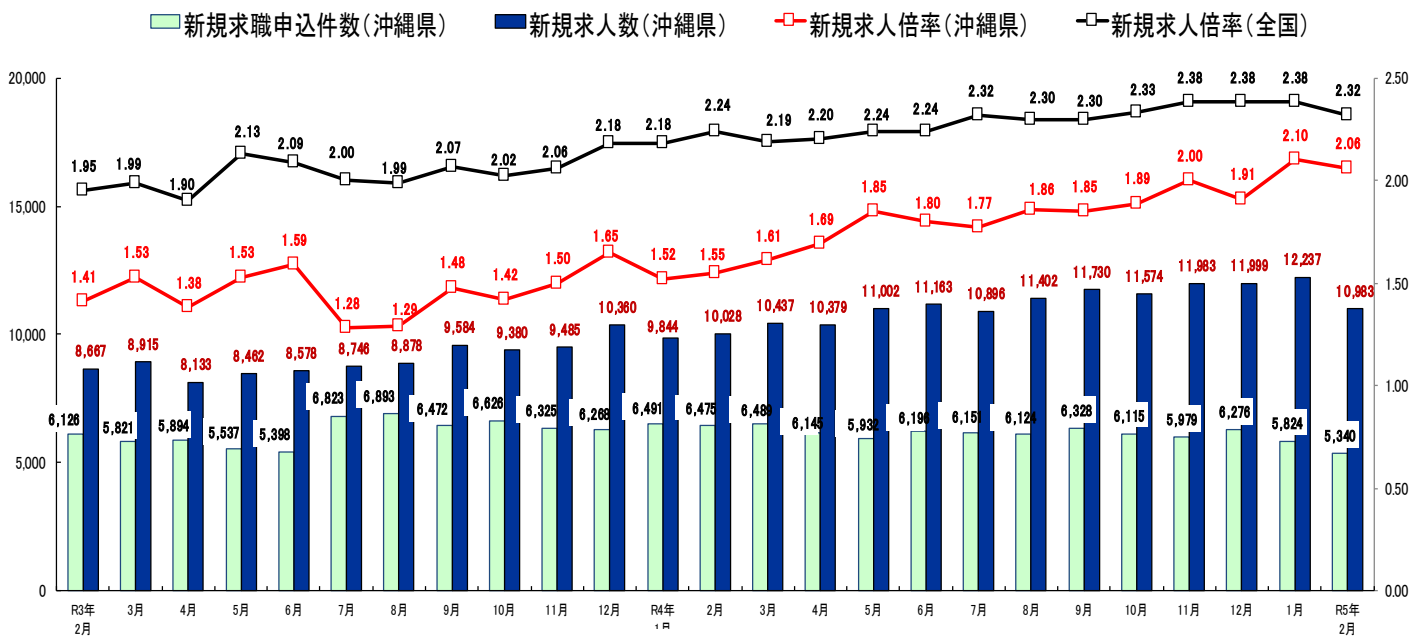
(1) 有効求人倍率

有効求人倍率(季節調整値)は1.12倍で、前月より0.01ポイント低下。
 ①月間有効求人数(季節調整値)は33,386人で、前月比2.1%減(721人減)となった。
 ②月間有効求職者数(季節調整値)は29,739人で、前月比1.4%減(414人減)となった。
 ③正社員の有効求人倍率(原数値)は0.67倍と前年同月より0.16ポイント上昇となった。
 ※有効求人倍率等の推移に関するグラフは1ページ(第1表)に掲載しております。

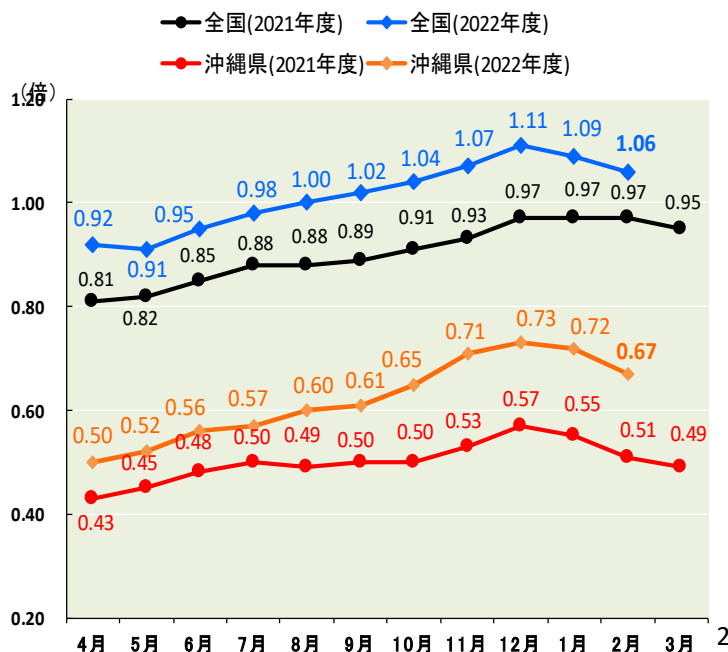
(2) 新規求人倍率

新規求人倍率(季節調整値)は2.06倍で、前月より0.04ポイント低下。
 ①新規求人数(季節調整値)は10,983人で、前月比10.2%減(1,254人減)となった。
 ②新規求職申込件数(季節調整値)は5,340件で、前月比8.3%減(484件減)となった。

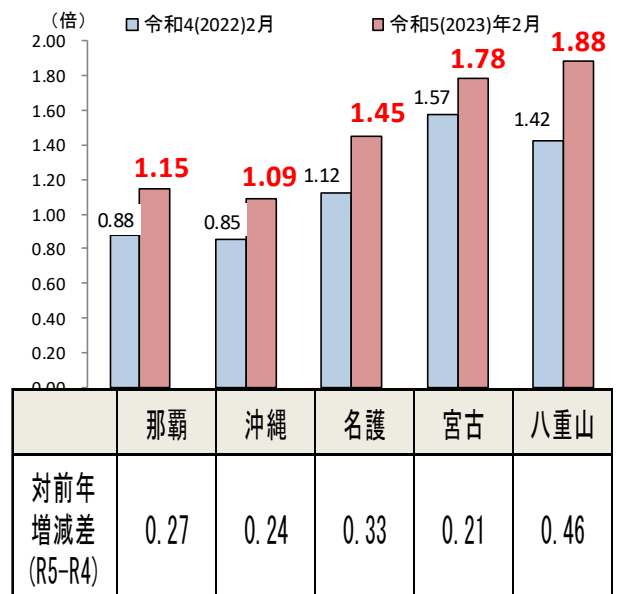
【第2表】 新規求人倍率の推移 (季節調整値)



【第3表】 正社員有効求人倍率の推移(原数値)



【第4表】 ハローワーク別有効求人倍率(全数・原数値)



2. 求人の動き【就業地別】

(1) 月間有効求人数について

月間有効求人数(原数値)は37,372人で、前年同月比18.4%増(5,821人増)と22か月連続の増となった。うち常用求人(雇用期間が4か月以上の求人)は31,729人で、前年同月比19.0%増(5,057人増)となった。

(2) 新規求人数について

新規求人数(原数値)は13,734人で、前年同月比11.0%増(1,365人増)と23か月連続の増加となった。うち常用求人は12,093人で11.5%増(1,246人増)となった。主要産業別に前年同月比で見ると、増加率が大きい順に、運輸業・郵便業の50.1%増、建設業の34.0%増、サービス業(他に分類されないもの)の29.8%増、生活関連サービス業・娯楽業の23.1%増、宿泊業・飲食サービス業の16.3%増加した。

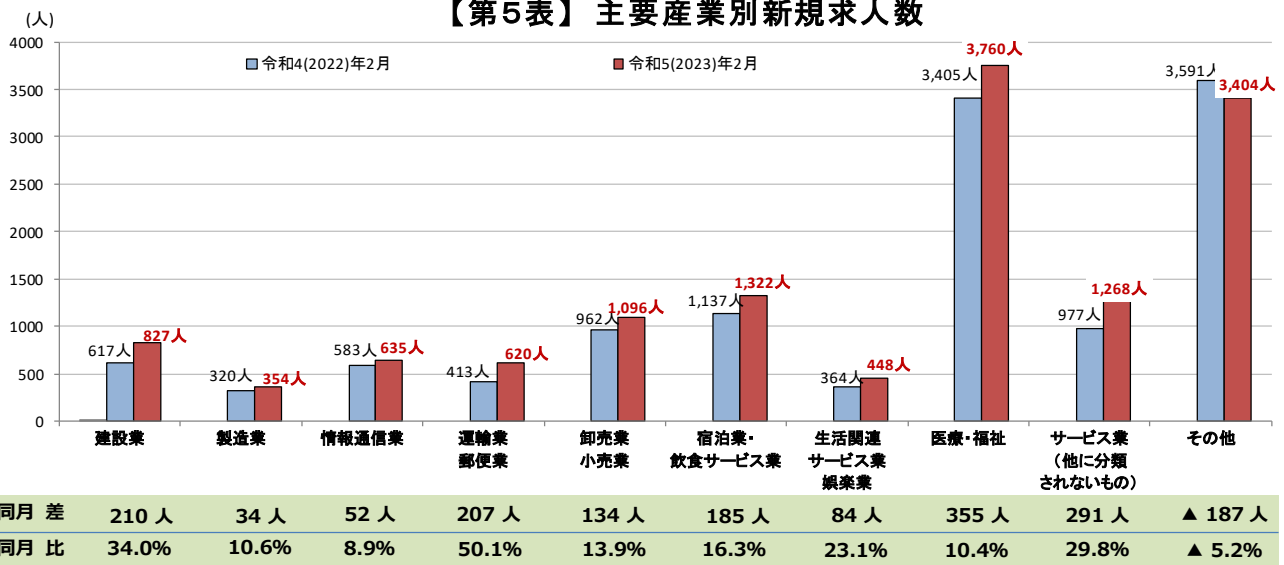
(3) 正社員求人数について

正社員新規求人数は4,350人で、前年同月比14.9%増(563人増)と23か月連続の増加となった。新規求人数に占める正社員求人の割合は31.7%で、前年同月比で1.1ポイント上回った。正社員有効求人数は12,787人で、前年同月比20.9%増(2,212人増)と22か月連続の増加であった。

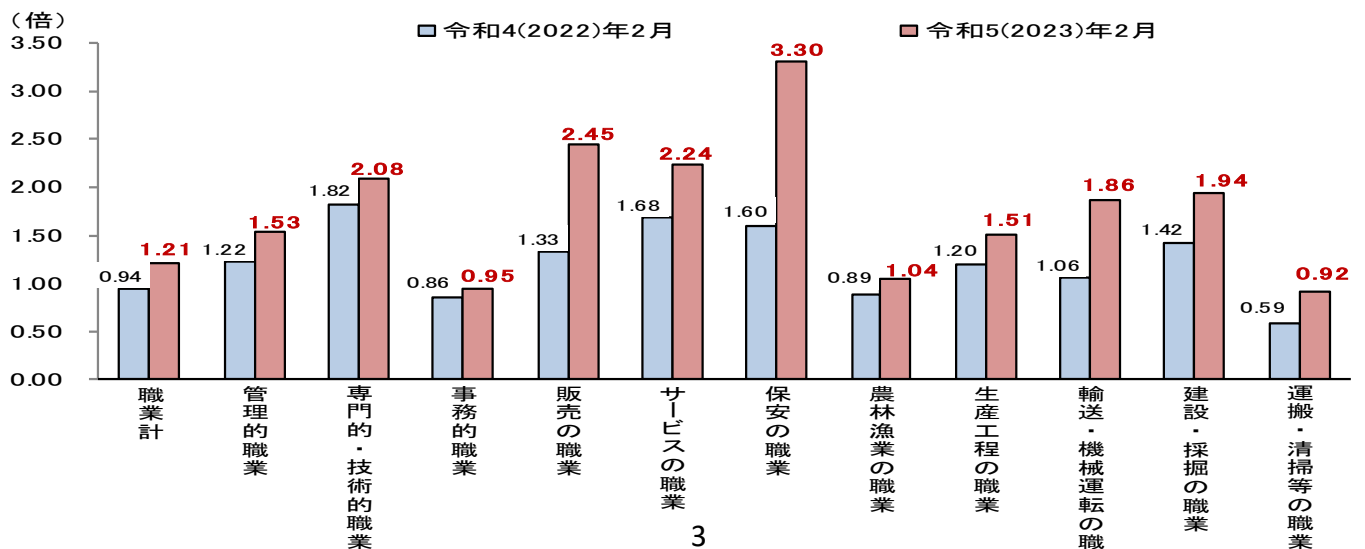
(4) パートタイム求人について

新規求人数(原数値)は6,133人で、前年同月比9.6%増(539人増)となり、月間有効求人数は14,956人で、前年同月比16.1%増(2,075人増)となった。

【第5表】 主要産業別新規求人数



【第6表】 職業別有効求人倍率(原数値)



3. 求職の動き

(1) 月間有効求職者の状況

月間有効求職者数(原数値)は30,807人で前年同月比7.8%減(2,615人減)と6か月連続の減少となった。そのうち常用(雇用期間が4か月以上の職業紹介を希望する者)は30,619人で、前年同月比7.6%減(2,502人減)と6か月連続の減少となった。また、臨時・季節を希望する求職者は188人で、前年同月比37.5%減(113人減)となった。

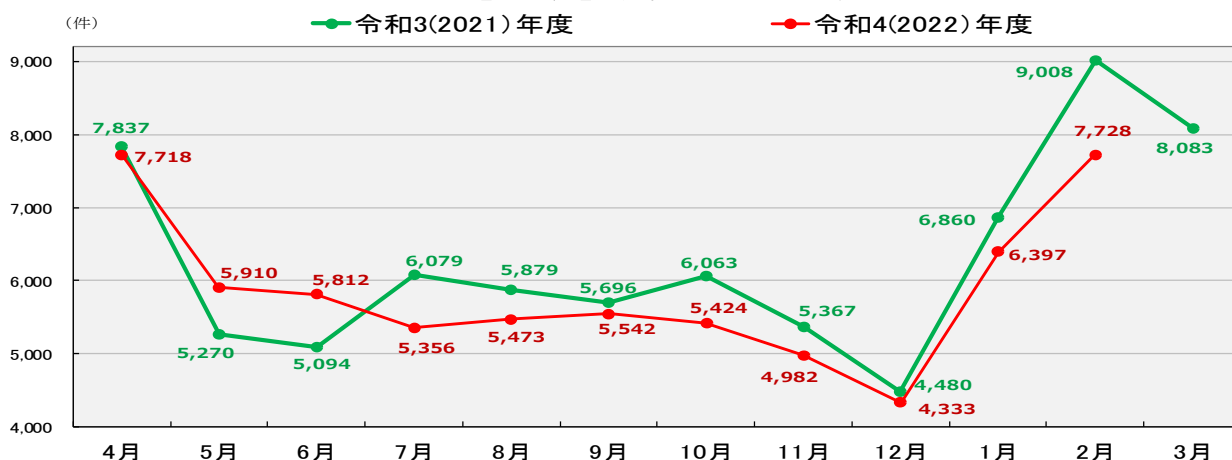
(2) 新規求職申込みの状況

新規求職申込件数(原数値)は7,728件で、前年同月比14.2%減(1,280件減)と8か月連続の減少となった。うち常用は7,679件で、前年同月比14.0%減(1,252件減)と8か月連続の減少となった。また、臨時・季節は49件で、前年同月比36.4%減(28件減)となった。

(3) 雇用保険受給者の状況

雇用保険受給者実人員は5,330人で、前年同月比10.8%減(645人減)となった。

【第7表】 新規求職申込件数



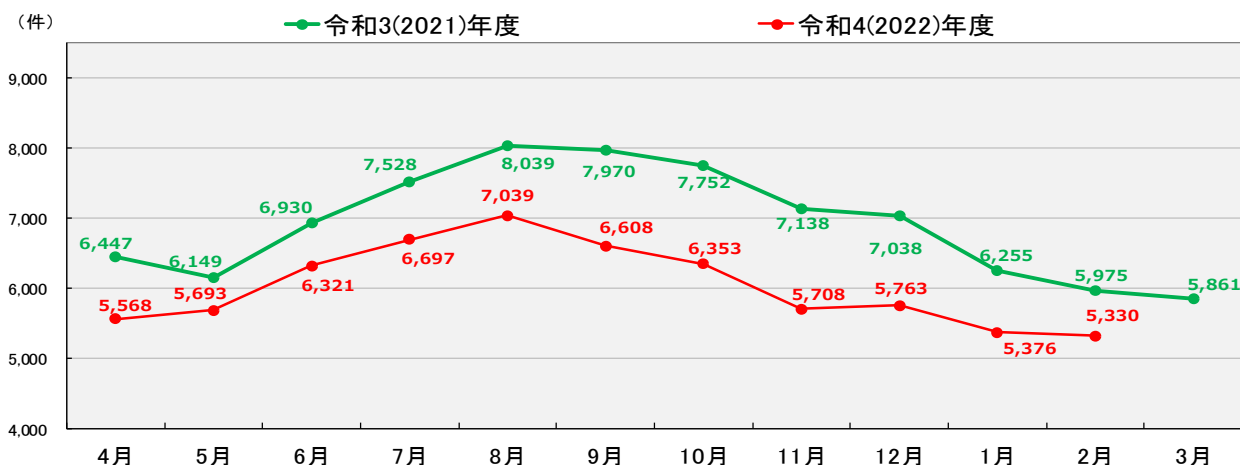
【第8表】 新規求職者申込件数の状況について

(単位:件,%)

	新規求職申込件数 合計	前年同月比	就業・不就業の状態別									
			在職者		離職者		うち事業主都合		うち自己都合		無業者	
			前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比	前年同月比				
令和4(2022)年2月	9,008	11.1	4,484	18.9	3,835	2.8	914	▲ 4.5	2,638	4.2	689	14.1
令和5(2023)年2月	7,728	▲ 14.2	3,503	▲ 21.9	3,662	▲ 4.5	809	▲ 11.5	2,650	0.5	563	▲ 18.3

新規学卒を除き、パートを含む。(原数値)

【第9表】 雇用保険受給者実人員



4. 就職の動き

(1) 就職件数について

就職件数は、2,155件(常用及び臨時・季節を合わせた総数)で、前年同月比13.4%減(333件減)と3か月ぶりの減少となった。

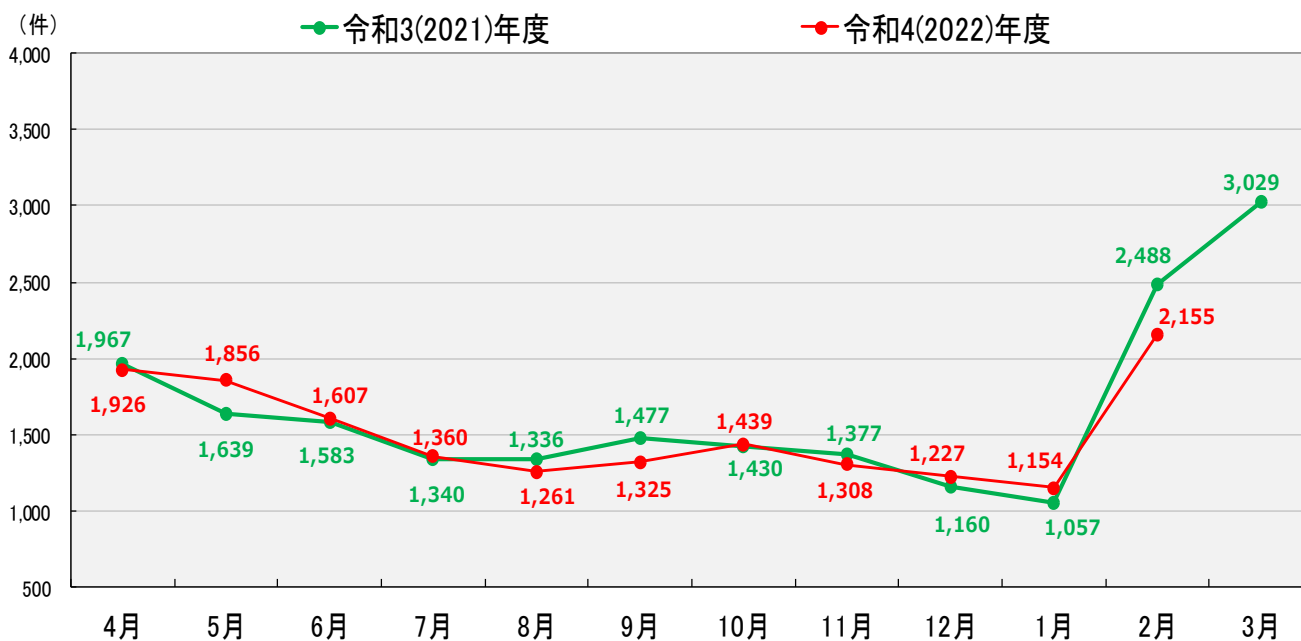
(2) 県内就職について

県内就職は2,051件(就職件数全体に占める割合:95.2%)で、前年同月比13.8%減(328件減)と3か月ぶりの減少となった。

(3) 県外就職について

県外就職は104件(就職件数全体に占める割合:4.8%)で、前年同月比4.6%減(5件減)と2か月ぶりの減少となった。

【第10表】 就職件数の推移



【参考】有効求人倍率・新規求人倍率の受理地別の数値について

(1) 有効求人倍率【受理地別】について

- ① 有効求人倍率(季節調整値)は1.00倍で、前月より0.02ポイント低下。
- ② 月間有効求人数(季節調整値)は29,847人で、前月比3.0%減(920人減)。
- ③ 正社員の有効求人倍率(原数値)は0.59倍で、前年同月より0.13ポイント上昇。

(2) 新規求人倍率【受理地別】について

- ① 新規求人倍率(季節調整値)は1.85倍で、前月より0.02ポイント低下。
- ② 新規求人数(季節調整値)は9,871人で、前月比9.6%減(1,047人増)。

沖縄労働局では、有効求人倍率、月間有効求人数、新規求人倍率、新規求人数について、就業地別の数値で雇用情勢の説明を行っております。

就業地別と受理地別の違いは次のとおりです。

- ・就業地別：求人票に記載された就業場所をもとに、実際に就業する都道府県別に有効求人数(新規求人数)を集計して算出したもの。
- ・受理地別：求人を受理したハローワークが所在する都道府県別に有効求人(新規求人数)を集計して算出したもの。

なお、月間有効求職者数及び新規求職申込件数では、受理地別・就業地別の区分は行っておりません。これらの数値については、沖縄県内のハローワークにおいて、新規に受理された求職申込件数(新規求職申込件数)および有効中の求職者数(月間有効求職者数)を発表しております。

○本発表に関連するデータは、沖縄労働局ホームページでご覧になれます○

【掲載先】

沖縄労働局ホーム>統計情報>求人求職・労働市場の動き>統計情報>労働市場の動き

【URL】

https://jsite.mhlw.go.jp/okinawa-roudoukyoku/jirei_toukei/kyujin_kyushoku/toukei/koyounougoki.html



○政府統計ポータルサイト「e-Stat」のご案内○

求人数、求職者数など一般職業紹介状況の全国及び都道府県ごとのデータは、政府統計ポータルサイトe-Statにて提供しております。

【URL】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00450222&tstat=000001020327>

